

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.264)

1. 豊田PCB処理事業部会を開催しました

3月2日(月)に、令和7年度第2回「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 豊田PCB処理事業部会」をWEB会議で開催しました。この部会は4名の学識経験者で構成され、環境省、愛知県及び豊田市もオブザーバーとして参加しています。

会議では、解体撤去工事の進捗状況、豊田市との環境保全協定に関する覚書の締結、解体撤去工事監査結果などを報告しました。覚書の締結では、安全な解体撤去に専念できるように豊田市との協定書の内容を解体撤去作業に適したものに見直すものです。

併せて、PCB廃棄物処理事業の記録について、事業所版と本社版とに分けて作成し内容については事業部会での審議を経て進めることを説明しました。

委員からは、「膨大な作業になるかと思いますが、非常に重要な事業を長期にわたり進めてこられたので、しっかりとまとめていただきたい。」といった意見がありました。



2. トラブル対応訓練

2月18日(水)に、トラブル等が発生した際に冷静かつ迅速に対応するためのトラブル対応訓練を行いました。今回は裁断破碎エリアの解体撤去工事中に設備が倒れて遮蔽フードの窓ガラスが破損し、破損箇所から液体が遮蔽フード外の通路上に飛散したという事象を想定しました。防災対策本部と現場指揮本部を設置の上、状況説明や再発防止対策の検討が行えるように現場の状況を記録すると共に、地元自治体、本社への報告を想定した模擬通報を行いました。また、協力会社とも情報を共有し、怪我人や危険がないか、原因と範囲を把握し、どこに影響が出るのか、外部環境への影響や二次被害はないか等を考える訓練ともなりました。今後も訓練を続けながら判断をする力を身につけてまいります。



3. 総合防災訓練を実施しました

3月13日(金)に東南海トラフ地震(震源:熊野灘沖、100km)の発生による緊急地震速報の発表を想定した地震対応訓練及び地震体験車による体験訓練を実施しました。

地震対応訓練では地震の強い揺れ(震度6弱)が豊田市に到達するまでの約30秒の間に、窓ガラス付近から離れる、落下物のある棚から離れる、机の下に入り大切な頭を守るなど、従業員が自分自身の身を守るための安全行動を実践しました。地震の揺れが収まった後は、全員がヘルメットを着用し、避難誘導者の指示に従い、最終避難場所であるプレゼンルームに避難し、速やかに人員点呼による安否確認を行いました。安否確認の結果、行方不明者および負傷者がいないことを確認後、JESCO本社へ「震度6弱の地震発生、設備は緊急停止したが、人的被害はゼロ」の緊急報告を行いました。



プレゼンルームに避難及び人員点呼の様子



今回は、豊田市消防本部から地震体験車(防サイ君)をお借りすることが出来ましたので、地震対応訓練実施後に全員ピロティに移動し、4人一組で順番に震度7相当の地震を約30秒間体験させて頂きました。強い地震で揺れている間は、想像以上に身動きが取れないため、大きな揺れが到達する前に自身の身を守る行動が如何にとれるかの大切さを学べる貴重な訓練となりました。



避難訓練の様子



地震体験車での様子



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問合せ先

アザラシのびーちゃん

